

# 飛翔 2025

ねんりんピック特集号





# 飛翔発行によせて



日本将棋連盟岐阜県支部連合会 相談役  
岐阜県議会議員 長屋光征

岐阜県議会議員長屋こうせいです。このたび、『飛翔』の最新号発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は岐阜県議会議員として、また日本将棋連盟岐阜県支部連合会の相談役として、皆様と同じく将棋を愛する一人として、将棋の普及活動や将棋を楽しめる環境づくりのお手伝いをしております。

皆様のご協力のおかげで、近年は岐阜県内でも多くの将棋に関するイベントを開催できるようになりました。

関ヶ原で毎年秋に行なわれる人間将棋、2022年の将棋サミット、県庁舎20階展望台ロビーでのプロ棋士の皆さんとの多面指し、国民文化祭の将棋大会、そして、昨年のねんりんピック岐阜2025では、全国から多くの皆様に岐阜県にお越しいただきました。

また、こうした各種大会やイベントの開催を通じて、棋士や女流棋士の皆様にも来県いただき、将棋を指す方はもちろん、観戦を楽しむ方や興味を持ち始めた子供から大人まで、多くの皆様に、第一線で活躍する棋士の皆様と触れ合う機会を作ることができました。

結びにあたり、私自身もさらに段位を上げられるよう研鑽を積みつつ、勝ち負けの中にも「礼に始まり礼に終わる」という、今の時代にこそ大切な精神を広めるため、

岐阜県での将棋文化の普及に引き続き取り組んでいくことをお約束して、ご挨拶とさせていただきます。

# 将棋の楽しさを伝えたい



岐阜県支部連合会会長  
細谷 純一

2025年は60歳以上の全国将棋大会、ねんりんピック岐阜2025が開催されました。参加したのは64チームで選手は192名になる大イベントです。参加選手は勝負にこだわるのはもちろんですが、選手同士の交流の場であり掛けがいのない時間を過ごせたと思います。まさに充実した3日間ではなかったでしょうか。

さて、岐阜県には4つのシンボルがあるのをご存知でしょうか。それは県魚、県鳥、県花そして県木のことです。いずれも将棋に関連づけることができる（こじつけ?）ので面白い発見です。まず、県魚はあゆで「香魚」とも書き、将棋の香車の一部が使われています。県鳥は雷鳥で、県内の関ヶ原町のシンボルでもあります。同町は徳川家康と石田三成が天下分け目の一戦を行った場所で、それに関連して「人間将棋」は毎年秋に開催されています。そして、県花はレンゲソウで花言葉に「あなたと一緒になら苦痛が和らぐ」とあります。参加者の中には棋力向上のため仲間と将棋を指し、切磋琢磨することにより人生の荒波を乗り越えた方も多いのではないのでしょうか。改めて、将棋の素晴らしさが伝わります。さらに県木はいちいです。地区代表で大会に参加する者にとって、「いちい（優勝）」は大きな目標になります。このことから考えても、岐阜県は将棋に縁の深い県だとわかります。

2026年私の目標は岐阜県の全支部を訪問することです。そこで子供からお年寄りまでの将棋ファンとの交流を図り、将棋の楽しさ、勝負の厳しさを教えます。さらに私自身の棋力を向上させ、将棋の奥深さも伝えたいと考えております。

# 支部紹介

日本将棋連盟の岐阜県支部連合会を校正する支部をご紹介します。  
岐阜県の将棋界発展のため、お近くの支部への加入を  
ご検討ください。

個人情報保護の観点から、連絡先は掲載しておりません。  
詳細は県連の役員や、支部会員にお尋ねください。

支部名	地域	会長連絡先
岐阜棋友会支部	岐阜	岩間龍男
岐阜将棋愛好会支部	岐阜	速水基希
岐阜県中央支部	岐阜	柴山芳之
高山将棋教室支部	飛騨	浅井泉
岐阜棋友会西濃支部	西濃	笹井義隆
可児支部	中濃	後藤和政
大垣支部	西濃	加藤肇
西濃ジュニア支部	西濃	林晃弘
中濃支部	中濃	細谷純一

## 岐阜県出身プロ棋士紹介

### ①五段 高田 明浩

生年月日 2002年6月20日  
棋士番号 328  
師匠 森信雄七段

抱負 今年は、着実に勝ち星を稼いで棋士として、より高みを目指す年にしたいと思っています。

具体的には、竜王戦と順位戦を中心に長い時間でしっかりと戦いたいと思っています。

もちろん短時間の棋戦も頑張ります。

好きな駒 銀です。攻受、両面で隙がない駒という印象です。初心者のとき棒銀戦法が好きだった名残でしょうか。



### ②四段 宮嶋 健太

生年月日 1999年8月13日  
棋士番号 339  
師匠 大野八一雄七段

抱負 昨年は上京し環境を変え、試行錯誤した1年でした。東京での生活にも慣れ、充実した日々を過ごしている実感があります。

今年は、昨年達成できなかった本選進出を目標に頑張りたいと思います。引き続き応援よろしくお願ひします。

好きな駒 角です。使い手によって、特性の引き出し方も違います、センスが1番問われる駒だと思います。



### ③女流初段 磯谷 祐維

生年月日 2003年1月15日  
LPSA番号 23  
師匠 山崎隆之八段

抱負 今年はこれまで以上に一局一局を大切に、内容にも結果にもこだわって指していきたいです。苦しい局面でも逃げずに考え抜く力を身につけ、安定感のある将棋を目指します。その積み重ねの先に、タイトル挑戦という目標を必ず実現のものにします。

好きな駒 歩です。地味でも一歩ずつ前に進み、形を作り、最後には勝敗を左右する存在になるところが好きです。



## ④女流初段 山口 稀良莉

生年月日 2005年1月11日  
女流棋士番号 72  
師匠 中田章道七段

抱負 2026年は白玲戦の昇段を目標に、目の前の対局に向き合いたいです。将棋にのめり込む楽しさを原動力にして課題に向き合い、内容と結果の充実した一年を目指します！

好きな駒 銀です。攻めに使えるのはもちろん、美濃囲いの要になっている38銀の形が美しいからです。



## ⑤女流1級 山口 仁子梨

生年月日 2002年9月17日  
女流棋士番号 68  
師匠 中田章道七段

抱負 今年の目標は、初段に昇段することです。ずっと目標にしている初段昇段ですが、去年も達成することができなかったのが、今年は必ず昇段したいです。また、しっかりと強くなって良い将棋がたくさん指せるように頑張ります。

好きな駒 歩です。どの駒も好きですが1番は歩です。弱い駒ではありますが、うまく使えばとても強い駒だからです。



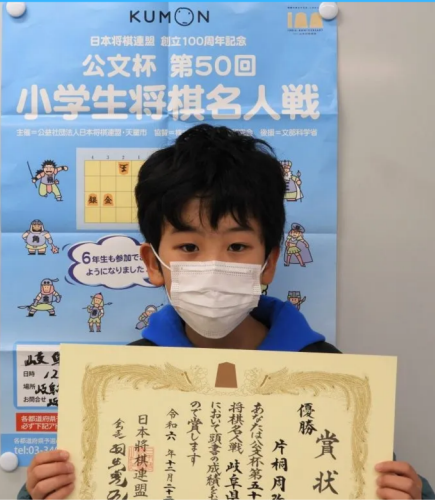
## ⑥女流1級 岩佐 美帆子

生年月日 2005年8月15日  
女流棋士番号 76  
師匠 豊島将之九段

抱負 今年の目標は、昨年より一局でも多く対局することです。対局経験を積むことで棋力を向上させ、勝ち星を増やしたいです。また、特定の戦法に偏らず、様々な選択できるよう、幅広い戦法に挑戦していきたいです。

好きな駒 角です。角交換後の打ち込みの緊張感が面白いからです。また、馬として自陣に引きつけた時の働きが好きです。





12/22  
第50回 小学生将棋名人戦

50回目となった、小学生名人戦。  
岐阜県代表となったのは片桐周弥くん。  
3月に行われた東日本大会では予選を勝ち上がり、東日本ベスト12と大健闘をされました。今後の活躍を楽しみにしています！

これまで小学生名人戦では  
岐阜県代表は宮嶋四段が優勝、  
高田五段が準優勝されています。

3/16  
第16回岐阜市長杯争奪将棋大会

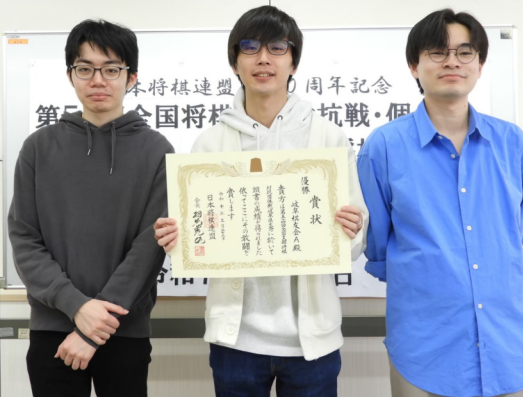
3月の将棋大会といえば「岐阜市長杯」  
例年、様々な地域からご参加いただいております。写真はS級の入賞者の3名です。

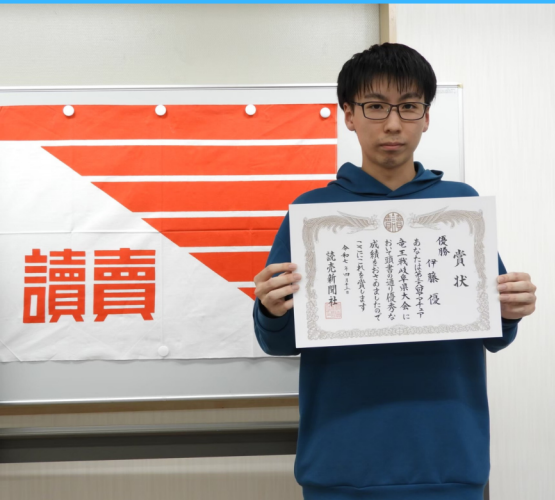
岐阜県の大会では小中学生がとても頑張っていて、S級入賞者のうち2名は中学生です。（当時）  
今後も、岐阜県支部連合会は学生さんの活躍を応援しています。



3/23  
第54回支部対抗戦・個人戦  
第32回全国シニア名人戦  
ねんりんピック代表選考会

支部対抗戦・個人戦は、県内の各支部のNo.1を決める大会。  
いつもは和気あいあいとしている支部連合会も若干ピリつきます（笑）  
個人戦優勝は伊藤奨さん。支部対抗戦優勝の岐阜棋友会支部Aは西日本大会に出場し、3位入賞と大健闘されました。  
シニア名人戦優勝の中島良一さんは西日本大会に出場、ベスト16と健闘されました。





## 4/13 第38回アマチュア竜王戦 第30回読賣新聞杯争奪大会

読賣新聞社さまのご協力をいただいて毎年開催していますアマ竜王戦、読賣新聞杯争奪大会。

今回大会優勝は伊藤優さんです。優さんには後ページで自戦記を執筆いただきました。とても読み応えのある内容です。ぜひご覧ください。

## 4/27 第46回中学生選手権 第27回中学生女子選手権 第24回倉敷王将戦

各大会全国大会の予選ということで、いつもより緊張感のある今大会。

優勝者はそれぞれ倉敷低学年 山田景斗くん、倉敷高学年 片桐周弥くん、中学生選手権 伊藤誇吾くん、中学生女子 安田結友さんとなりました。

全国大会では伊藤誇吾くんがベスト8となりました。



## 5/11 第61回全国高等学校 将棋選手権/第49回高校総合 文化祭将棋部門

毎年、日光コミュニティセンターを会場に行われる今大会。広めの会場ですがご覧の通り、高校生でいっぱいになります。個人戦と団体戦を行い、団体戦男子 鶯谷高校 女子 鶯谷高校 個人戦男子 優勝 神野来樹くん 準優勝 山口修生くん 女子 優勝 川田理乃さん 準優勝松田ほのかさん となり、全国大会に出場しました。

全国大会 鶯谷高校女子準優勝 神野くん5位 山口くんベスト16 鶯谷高校男子ベスト16



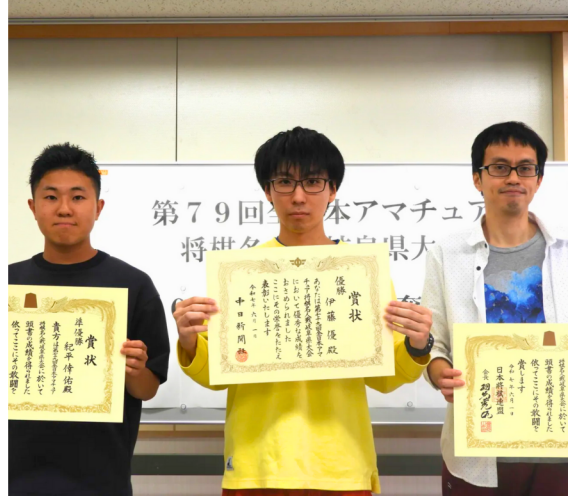
## 5/25文部科学大臣杯第29回 小・中学校将棋団体戦 ねんりんピック代表選考会

小中学校単位で団体戦を戦う今大会。  
(ねんりんピック代表選考会も併催)  
小学校優勝は高山市立北小学校  
中学校優勝は鶯谷中学校となり、  
それぞれ西日本大会に出場しました。  
同じ学校で3人集めるのは大変ですがその代わり全国大会の切符が得やすい大会です。  
たくさんの方で参加をお待ちしています。



## 6/1 第79回アマチュア将棋名人戦

県代表を決める大会で大きなものといえばアマ竜王戦と名人戦の2つですが、2025は県アマ竜王の伊藤優さんがアマ名人戦も優勝、県アマ二冠となりました。  
優さんは全国大会で決勝トーナメントに進出、悔しくも優勝の横山さんに負けてしまいましたが、ベスト16で大活躍されました。こちらの自戦記もぜひ御覧ください！



## 6/15 第38回高等学校将棋 竜王戦/第2回若鮎中学生将棋大会

高校竜王戦は団体戦と併催されないため、県内高校生No.1を決める戦いとなります。今回優勝の若林卓実くんは去年も優勝しており連覇となりました。  
若林くんは全国大会に出場、予選を突破し決勝トーナメントに進出し、ベスト16と健闘されました。





7/13

## 令和7年第1回定期順位戦

岐阜県で特徴的な大会といえばこの「定期順位戦」でしょう。1回から3回までの勝数に応じて図書カードがもらえる今大会。多くの方がゲットされたことと思います。またS級からC級までクラス分けされており、自分の棋力にあったクラスに出られると好評いただいております。

8/24

## 令和7年度第2回定期順位戦

第2回定期順位戦では、シルバースタージャパンの山本社長にお越しいただき、新作ゲームの試遊をさせていただきました。ご覧の通り、こどもたちに大人気！！こうなると対局開始のアナウンスは聞いていませんので毎回呼びに来ています。毎回呼びに来るので、今後も楽しんで遊んでいってくださいね。



8/24

## 令和7年度第3回定期順位戦

1回から3回通じて、将棋指導員の方をお呼びして指導対局をしていただいております。この指導対局は大人気！指導員の方にはとても頑張っていただいております。空気があれば参加されていない方でも指導を受けられますので、保護者のかたもぜひ指導を受けてみてくださいね！





10/5

## ぎふしん杯第5回岐王戦

高田五段をお呼びして開催されております  
岐王戦も第5回となりました。

岐王戦の部の優勝 水谷歩くん  
準優勝 吉永悟くん 3位 安田清流くんは  
大会終了後高田五段による指導対局を受け  
ました。

今回は新しくできた「G's DREAM」を  
会場として使用させていただきました。

10/26

## 岐阜県将棋フェスティバル

1回から3回まで開催された定期順位戦の  
出場者のみが参加できるチャンピオン戦が  
開催されるのが今大会

「岐阜県将棋フェスティバル」です。

(一般戦はどなたでも参加できます)

毎回棋士をお呼びしており、今回は  
杉本昌隆八段にお越しいただきました。  
非常に丁寧で優しい指導をいただきまし  
た。ありがとうございました。



今年度も沢山の方にご参加いただきありがとうございました。

岐阜県の将棋界がもっと発展するように、

今後もご参加いただけますと幸いです。

今後も皆様が気持ちよく将棋を楽しめるように、

大会運営をさせていただきます。

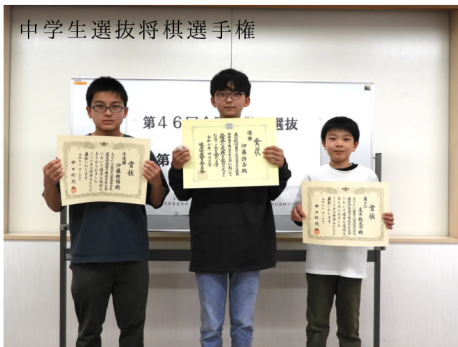
なにか気になることがございましたら、運営にお気軽にご相談ください。

# ギャラリー

シニア名人戦



中学生選抜将棋選手権



小学生倉敷王将戦低学年の部



杉本昌隆八段



支部名人戦（個人戦）



第3回定期順位戦A級

# アマチュア竜王戦 岐阜県大会

優勝 伊藤 優



こんにちは。4月13日に行われた竜王戦岐阜県大会で優勝することができました、伊藤優です。この度、自戦記を載せて頂くということで書いていくのですが自戦記を書くのが初めてで、拙い文章になってしまうのですが最後までお付き合いください。

例年、岐阜県の代表を決める大会では、トーナメント方式ではなくスイス方式というものが採用されています。今回は参加人数23人だったので4連勝が2人でた場合は決勝戦をするという認識です。

そして全勝同士の対戦で私は柴崎元さんとの対局となりました。柴崎さんとは対戦経験が1局しかないながらも、前年度の赤旗名人戦全国ベスト8をはじめ、多くの実績をもっており岐阜県でも屈指の強豪といった印象です。それでは、事実上の決勝戦となったこの対局を振り返っていきたいと思います。

持ち時間は20分/30秒ということで序盤から悪くならないように慎重に持ち時間を使っていこうと考えていました。

私が振り駒で先手番を引き、相手の振り飛車を予想した中で居飛車を採用しました。

すると図1のように後手番ながら中飛車を採用してきました。居飛車側に急戦か持久戦かの選択肢があるところですが、今回は急戦を選択しました

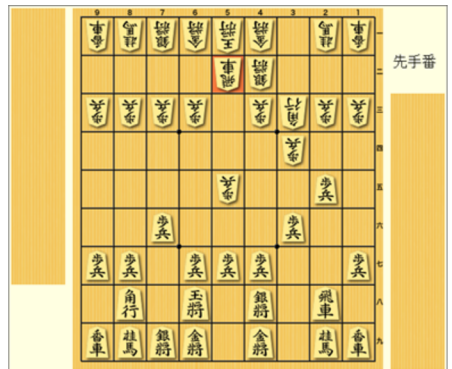


図1 【第12手△5二飛まで】

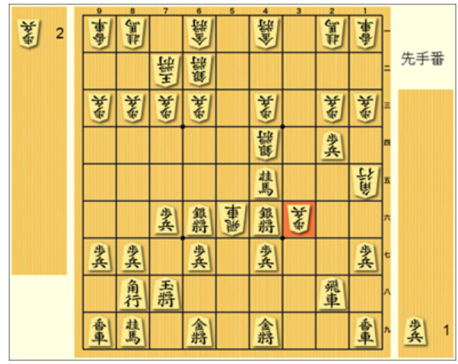
以下先手が銀を繰り出していく手に対して後手が△6二銀としてきました。

(図2)



図2 【第22手△6二銀まで】

先手側の2枚銀急戦に対して通常であれば美濃囲いに組む所ですが後手番で手が遅れているということで中央思考できました。後手は、この後△5三銀上、△5四銀まで進むと安定します。先手としてはその形を防ぎたいため、実戦は▲3七桂としました。玉形が不安定なまま△5六歩からの開戦が見えているだけに先手としてはこの数手は怖いところです。



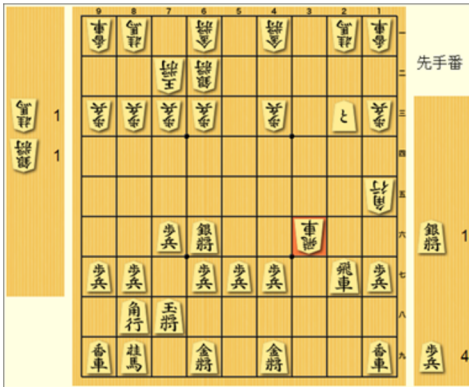
以下数手進んで図3の局面

図3【第32手△3六歩まで】

ここで第一感は、▲2五飛△2四角▲5八金右でした。そうなればお互いに指す手の難しい互角の中盤戦となる所でした。この展開にあまり自信を持たず実戦は図3から▲2三步成としましたが敗着になりかねない悪手でした。

以下△3七歩成▲2五飛△4七と▲1五飛△4六飛と進むと明快に先手が悪そうです。

実戦は▲2三步成に対して△2七歩だったので九死に一生を得ました。大変長くなり恐縮ですが、以下▲同飛△2六歩▲2八飛△3七歩成▲同銀△4五銀▲5七歩△2七歩成▲同飛△3六銀▲同銀△同飛となり迎えたのが図4。



ここで▲2五飛とするのがぴったりの手。この一手で手ごたえを感じました。以下△1四銀とされ形勢自体は難解ながら居飛車の指し手がわかりやすい展開となりました。

図4【第46手△3六同飛まで】

その後は大きなミスなくリードを保ったまま勝ち切る事ができましたが、

序盤に課題を残す内容でした。

6月に出場した全国大会では、予選落ちとなり力不足を痛感したのと同時に初の全国大会でとても貴重な経験となりました。自分の弱点を克服して全国でも通用する力をつけるように努めていきたいです。

(棋譜は18ページに掲載)

アマチュア名人戦  
岐阜県大会

優勝

伊藤 優



竜王戦岐阜県大会に引き続き名人戦のほうも自戦記を担当します。伊藤優です。竜王戦のほうをすでに読まれた方もそうでない方も最後まで読んでいただけると幸いです。

さて、今大会も竜王戦同様にスイス方式が採用されていたのですが、全勝同士の決勝戦となった対局について振り返っていきます。

決勝戦の相手となったのは、斎藤健雄さんでした。斎藤さんは学生時代から強豪として知られており、レーティング大会など対戦経験は何度かあるものの今回久しぶりの対戦となりました。持ち時間は20分/30秒ということで序盤で作戦負けをしないように心掛けました。

私の後手番で始まりましたが、想定通りの対抗形だったので早いテンポで進み局面は(図1)となりました。

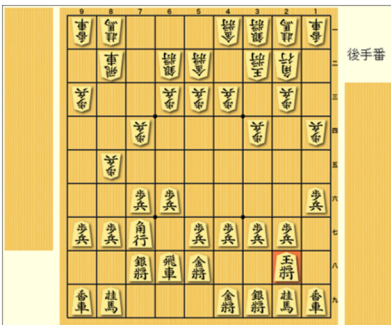


図1 【第19手▲2八玉まで】

第一感は△4二金上としたい所ですが▲4七金とされたときに損得が非常に難しいところです。また、居飛車側は後手番なのでここから持久戦を目指す指し方も考えられますが、バランスが悪くなりやすいので神経を使う展開が予想されます。

先手四間飛車に対して、急戦または持久戦を選択するののかの分岐点となりましたが△7三桂として急戦模様となりました。そして、いわゆる、へな急(へなちよ急戦)と呼ばれる構えから5筋の位をとっていく積極的な構想で進め迎えたのが(図2)。



図2 【第33手▲9六歩まで】

これらをふまえ、実戦は△6五歩と開戦しました。

△6五歩に対し、▲同歩△同銀と進み続く▲5九角が当然ながら▲2六角を見せた一手。本譜も以下△6二飛に対して▲2六角として(図3)。



図3【第39手▲2六角まで】

対して平凡に△6一飛と引いてこれからの勝負でしたが、実戦は△4四角。以下▲同角△同歩▲6六歩△5四銀と進んで▲7一角(図4)。・・・

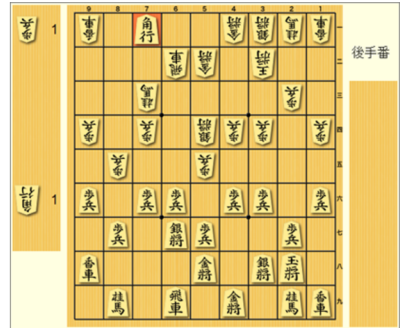


図4【第45手▲7一角まで】

この手を見落としていました。以下進んでみても形勢は早くも振り飛車優勢。評価値も振り飛車+1000といったところでしょうか。その後はわかりやすい展開にだけはならないように、馬を作り相手の飛車にプレッシャーをかけにいき迎えたのが(図5)。図4と比べるとだいぶ紛れてきて振り飛車がどう攻めていくかというところ。



図5【第70手△2同玉まで】

ここでの正着は▲7三香成でした。以下▲6三成香と寄せていくのが自陣の堅さを生かした着実な攻めで困ってました。実戦は▲1五歩と持ち歩を生かした筋の良い攻めようですが振り飛車側の玉頭にも嫌味が生じるためチャンスが来たと感じました。実際の評価値を見てもこの手で一気に互角まで戻っており、将棋の難しさがよくわかります。



## アマチュア名人戦 全国大会

岐阜県代表

伊藤 優



県大会に引き続き全国大会の振り返りをしていくのでもう少しお付き合いください。

アマチュア名人戦全国大会は9月13.14日に開催されました。一般の全国大会の出場は私自身6月の竜王戦ぶりとなります。竜王戦では、1勝2敗で予選落ちと全国の壁の高さを身をもって実感しました。岐阜県代表として今回もふがない成績では帰れないなあと勝手にプレッシャーを感じており、予選突破を最低限の目標としていました。

ということでいよいよ大会がはじまり、予選の1局目から振り返っていきたいところですが、棋譜を再現できるのが本大会を通じて1局だけしかできませんでしたので、その他は内容に軽く触れることしかできませんがご了承ください。

予選リーグは抽選により4人1組のリーグができ2勝通過、2敗失格のよくある形式です。初戦が重要だと気合を入れ対戦相手を確認すると、なんと前年度名人の関矢さんでした。

(竜王戦の時の初戦は前年度準優者の荒田さんでした)

だれと当たっても厳しいことに代わりないですが、竜王戦に続いて勉強させていただく気持ちの初戦でした。そして対局が始まり、先手番をひくことができたので先手中飛車をすると、お相手は居飛車の持久戦模様からの穴熊を選択。格上相手に堅さ負けしてはいけないと考え相穴熊の戦型になりました。中盤までは互角の進行ながら、1手の緩手をとがめられ苦しい展開となり、正確な指しまわしを前に大差での終局となりました。

予選突破に向けて後がなくなった2局目は終盤まで激戦もなんとか勝利。そして勝てば予選突破・負ければ予選敗退の3局目は、終盤に悪手をさしながらもなんとか粘って逆転勝利。

全国大会初の予選突破を決めました。内容は決していいものではなかったのですが翌日の決勝トーナメントでは内容のよい将棋をさすことを目標に向かいました。

そして、ベスト16をかけた一戦では中盤以降ペースをつかむと緩めることなく勝ちきることができました。非常にうれしい一方、ここまできたらプロ棋戦にも出場できるベスト4が目標となってきました。

ベスト8をかけた1戦はアマ棋戦の優勝回数が幾度とある横山さんでした。

本局も先手番をひいたので先手中飛車を採用し(図1)のように進みました。△8五歩がついていないため6四歩、6三銀、7四銀、8五銀の含みがあることと、二枚銀急戦の可能性もありどちらも警戒したため、▲4八銀と中央を厚くする方針にしました。

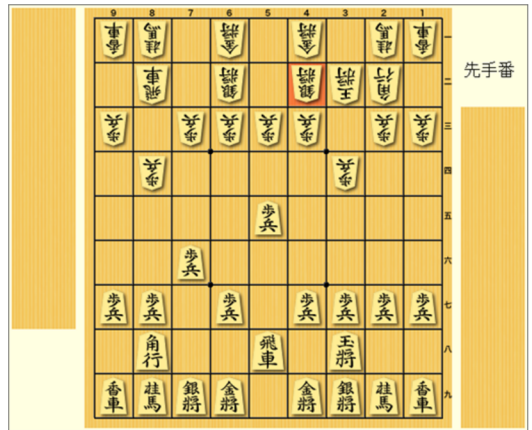


図1

さらにそこから数手進み(図2)は方針が難しいところ。▲6八角から駒組を進めるのが無難であるが居飛車はその間に穴熊へと発展することになるため勝ちづらいと判断しました。

そこで本譜は勢い6五銀右と開戦していきました。

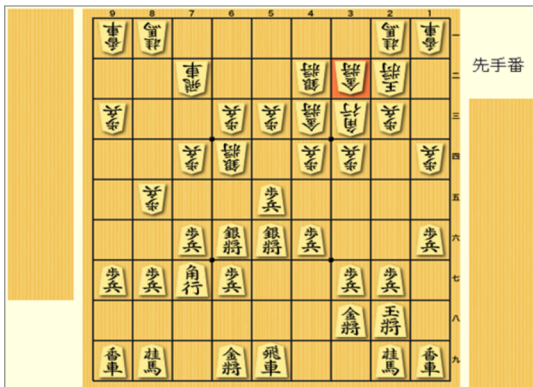


図2

図2 からかなり進んで図3は▲6四銀とでた局面です。中飛車側の駒がさばけていていて難しいながらもかなり手ごたえがありました。ここで本譜は△8六飛ときりとばしてきました。

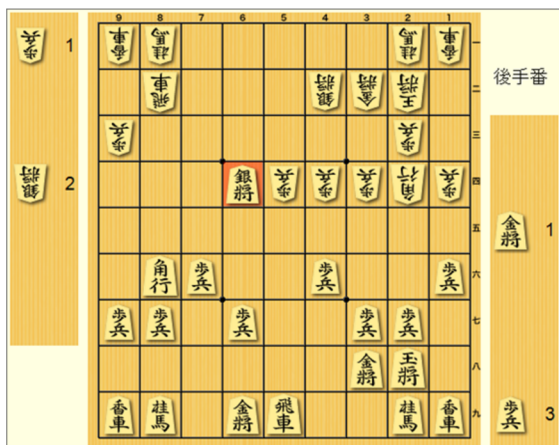


図3

感想戦でも仕方なくといった感じであったようでこの後の数手を上手くまとめることができれば勝てそうと思い、以下▲同歩△4五歩▲8二飛△7四角と進み(図4)

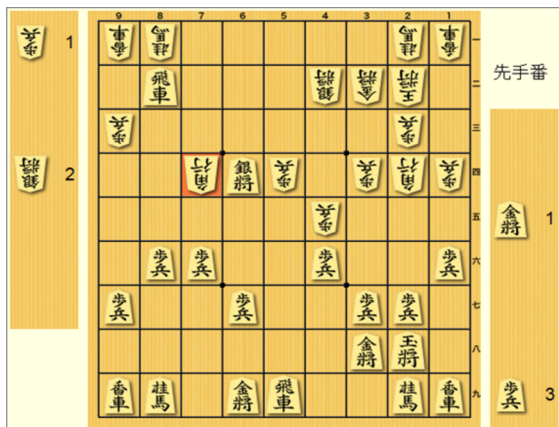


図4

正着は▲5六歩でした。▲5三歩という攻め味がなくなり長期戦になるため大変かなと考えていた結果秒に追われて実戦は▲8一飛成としてしまいます。完全にやらかしたと感じました。以下△4六歩▲4八歩△4七銀と攻め込まれ、そこでの▲5六歩が敗着となり押し切られました。中盤まで上手くさせていただけに悔しい結果となりました。大会を通じて内容がよかったなと思えるものはありませんでした。秒読みの中での精度が低いことを体感し上位との差を感じると共に、向上させていきたいと思いました。

来年も全国の舞台に戻ってこられるように日々精進します。  
ありがとうございました。



遠回りしながらも、  
もがいて身につけたものの  
方が、簡単に得たものより  
も後々まで役立ちます。  
羽生善治

---

日本将棋連盟岐阜県支部連合会 会報

# 飛翔 2025



---

発行 日本将棋連盟岐阜県支部連合会  
編集者 細谷純一 西部詩織 古澤寛

発行日 2026年2月10日

第 37 回全国健康福祉祭りふ大会

# ねんりんピック岐阜 2025

## 将棋交流大会 特集号

美濃加茂市

「プラザ

ちゅうたい」



美濃加茂市

文化会館

「かもーる」

「清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪」

2025年10月18日(土)～21日(火)

# 序

5年前の2020年10月、岐阜県美濃加茂市で将棋のねんりんピック全国大会を開催、ということで、5チーム15人の選手が決定され、ユニフォームも配布されて、いよいよ全国大会の開催というところまでできました。しかし、全国に広がった新型コロナ禍のため全国大会は中止となりました。それから5年、遂に美濃加茂の地で、ねんりんピックの「将棋交流大会」開催の運びとなりました。2025年10月18日(土)～20日(月)までの3日間、選手たちの熱気あふれる全国大会の様子をここにお伝えいたします。

(2025.03.23.)  
ねんりんピックの  
岐阜県予選(1)

- (左) 杉崎正治さん  
準優勝
- (中) 林一成さん  
優勝
- (右) 吉川文夫さん  
3位



(2025.05.25.)  
ねんりんピックの  
岐阜県予選(2)

- (左) 古川広文さん  
準優勝
- (中) 久保田豊さん  
優勝
- (右) 吉川文夫さん  
3位

# ねんりんピック岐阜 2025

## 「将棋交流大会 特集号」

### ＜大会特集号の目次＞

(ページ)

(表紙)「将棋交流大会 特集号」	1
「将棋交流大会 序文」2025.03.23 岐阜県予選 (1) 2025.05.25.岐阜県予選 (2)	2
「将棋交流大会 特集号」の目次	3
「総合開会式」(岐阜メモリアルセンター)	4
「総合開会式」(岐阜メモリアルセンター)	5
「将棋交流大会の開始式」(かもーる)	6
「将棋交流大会の開始式」(かもーる)	7
「将棋交流大会の2日目」(プラザ中体)・・・以下、会場はプラザ中体です。	8
「岐阜県代表の4チームが登場」	9
「団体戦予選リーグ1回戦の始まり」	10
「対局開始、指導対局も始まる。」	11
「団体戦、決勝トーナメント進出」	12
「次の一手、詰将棋の正解発表」	13
「3日目、個人戦の1回戦です。」	14
「個人戦、江崎岐阜県知事さんが訪問」	15
「午後からは、3回戦の始まり」	16
「プロ棋士の指導対局と3回戦の表彰」	17
「団体戦の決勝戦(4回戦)」	18
「個人戦トーナメントの決勝戦」	19
「団体戦決勝 大将観戦記①」	20
「団体戦決勝 大将観戦記②」	21
「いよいよ、表彰式の始まりです。」	22
「将棋交流大会 団体戦の表彰式」	23
「将棋交流大会 個人戦の表彰式」	24
「将棋交流大会 閉会式」 「編集後記」	25
大会記録 団体戦予選リーグ(10月19日)結果表	26
大会記録 団体戦 決勝トーナメント(10月20日)組み合わせ表	27
大会記録 上位入賞記録報告書(団体戦)	28
大会記録 上位入賞記録報告書(個人戦)	29
「将棋交流大会特集号」の番外編(1)	30
「将棋交流大会特集号」の番外編(2)	31
(裏表紙)「ミナモちゃん」	32



# 総合開会式

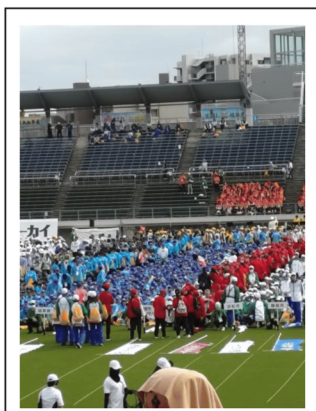
(岐阜メモリアルセンター長良川競技場)



岐阜メモリアルセンターの入場門から、全国の選手の皆さんが入場してきました。



会場に「ねんりんピック岐阜2025」の大きな看板が掲げられています。いよいよ大会の始まりです。



式典会場の陸上競技場には、県ごとの大きな旗が並んでいます。開催県の岐阜県は中央に位置しています。

続々と選手の皆さんが集まり、式典の準備が進められています。



県ごとの旗が掲げられました。岐阜県の選手の皆さんは青色のユニフォームを着用しています。岐阜県からは、全30種目711人が参加します。全国からは56種目、約1万人の選手、役員が参加します。4日間で、観客も含めて延べ60万人の方の参加が予定されています。



式典の始まりです。開会宣言の後は、国歌斉唱、3旗掲揚、主催者の挨拶、彬子女王殿下のお言葉、選手宣誓、炬火点火と続きました。この後、ステージでは、交流アトラクション（前半・後半）が始まります。選手の皆さんは観客席に移動して岐阜の味覚も楽しみました。



炬火点火です。点火台に点灯されると、スタジアムで近くにいる方たちは、一斉にカメラのシャッターを切っていました。



ステージ上で、交流アトラクションが始まりました。「ようこそ！ねんりんピック岐阜2025」では競技開催市町村が映像スライドを交えて紹介されました。この後、選手の皆さんは各競技会場へと向かいました。

## 将棋交流大会の開始式(かもーる)



将棋交流大会の始まりです。美濃加茂市文化会館「かもーる」にて、代表者会議が始まりました。細谷副会長の挨拶です。



全国から各チームの代表が集まり、対局中のルールについて、質疑応答が熱心に行われました。



選手歓迎のオープニングは、和太鼓チーム「美濃乃國 御神火太鼓」の力強い演奏が会場いっぱいに響き渡りました。



和太鼓の力強い演奏は、選手の皆さんに、温かい歓迎と応援のメッセージとなりました。



ねんりんピック岐阜2025、将棋交流大会の副会長の細谷純一が、開会宣言です。いよいよ将棋交流大会の始まりとなりました。



将棋交流大会の大会長、藤井浩人美濃加茂市長の歓迎の挨拶です。5年前にコロナ禍で大会が延期されたことにも触れていました。

## 将棋交流大会の開始式（かもーる）



来賓の美濃加茂市議会議長森弓子様よりご祝辞をいただきました。ありがとうございました。



競技主管団体の岐阜県支部連合会の皆さんの紹介です。村松厚廣幹事長の挨拶です。左隣は富田國夫競技副委員長です。



日本将棋連盟より4名のプロ棋士が参加しました。岐阜県出身の高田五段は、副審判長として、参加されていました。



審判長の久保九段からは、大会参加の皆さんへ激励の言葉をいただきました。プロ棋士の皆さんとの指導対局も楽しみです。



特別表彰があり、岐阜県の杉崎正治さんは3番目の高齢の91歳で、美濃加茂市長さんより高齢者賞の賞状をいただきました。



全国から参加されている191名の選手を代表して、岐阜県選手団代表の林一成さんが選手宣誓を行いました。

# 将棋交流大会の2日目（プラザ中体）



将棋の対局は美濃加茂市「プラザちゅうたい」が会場です。入り口に「将棋交流大会」の大きな看板が立てられていました。



対局用の将棋盤、駒、対局時計等、どの席も、準備万端に整えられています。後は、対局者を待たばかりです。



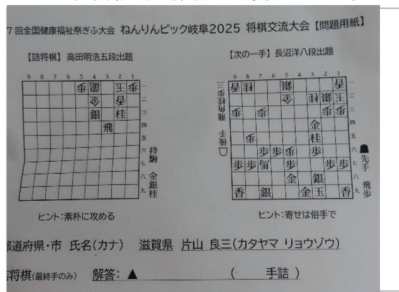
朝早くから、審判会議です。細谷副会長から審判の果たす役割、注意点等について詳しく説明がありました。



全国の代表チームに岐阜県の小学生から応援のぼり旗が届けられました。これは、表彰式の撮影にも使われます。



いよいよ選手の皆さんが到着しました。美濃加茂市職員による受付を済ませて、対局を始める競技会場へと向かいます。



選手一人ひとりには「詰将棋と次の一手」のプリントが渡されました。応募した正解者の中から抽選で、賞品がもらえます。

## 岐阜県代表の4チームが登場



「清流ぎふA」チーム。大将は中島良一さん、副将は吉川文夫さん、三将は林一成さんです。岐阜県の最強チームです。



「清流ぎふB」チーム。大将は久保田豊さん。副将は平田角次さん、三将は澤村松伺さん。久保田さんは、元岐阜県連会長さんです。



「清流ぎふCチーム」。大将は服部一仁さん、副将は古川広文さん、三将は杉崎正治さんです。服部さんは振飛車のスペシャリスト。



「清流ぎふD」チーム。大将は市村瑞穂さん、副将は広井久明さん、三将は高木一己さん。広井さんは、右玉のスペシャリストです。



開始セレモニーが始まりました。岐阜県支部連合会顧問で岐阜県議会議員の長屋光征様から歓迎の言葉を頂きました。



日本将棋連盟 岐阜県支部連合会会長の細谷純一様から歓迎の挨拶を頂きました。「皆さん、心から歓迎申し上げます。」

# 団体戦予選リーグ1回戦の始まり



いよいよ団体戦予選リーグの始まりです。本大会には、64チーム、191名の選手の皆さんが参加しています。



対局開始です。細谷副会長さんより、「皆さん、対局を始めて下さい！」の合図がありました。「お願いします!」



「清流ぎふA」チームです。1回戦は福岡県の「福岡めんたい」チームとの対戦です。どのチームも強敵ばかりのメンバーです。



「清流ぎふB」チームです。1回戦は佐賀県の「佐賀県」チームとの対戦です。予選リーグは3回戦あります。



「清流ぎふC」チームです。1回戦は鳥取県の「鳥取県」チームとの対戦です。持ち時間は40分の厳しいルールになっています。



「清流ぎふD」チームです。1回戦は長崎の「ぼってん長崎」チームとの対戦です。4チームによる総当たりのリーグ戦です。

# 対局開始、指導対局も始まる



いよいよ団体戦予選リーグ戦の1回戦が始まりました。会場に駒音だけが響きます。



美濃加茂市職員の方の方が一般観戦者のために、指導対局の受付を始めました。



久保九段の指導対局です。対局者は次の一手を考えて、順番を待っています。



大石七段の指導対局です。大駒落ちの対局が続きました。



高田五段の指導対局です。相手の方は、何と棋譜を取っての対局でした。



久保女流1級の指導対局です。一手一手よく考えて、丁寧に指していました。



2回戦が終了して、昼食休憩です。弁当引換所で「おもてなし弁当」が渡されます。



観客席で午後の対局に備えて腹ごしらえをしています。「おもてなし弁当」が力に。

## 団体戦、決勝トーナメント進出



「清流ぎふA」は、2連勝同士のチームとの対戦です。この3回戦で勝ったチームが、決勝トーナメント進出になります。



「清流ぎふB」は1勝1敗です。3回戦の勝利で、団体戦予選の2位を目指します。相手は、埼玉県チームです。



「清流ぎふC」は0勝2敗です。3回戦の対局で、何とか団体戦予選で1勝を挙げて初勝利を目指します。



「清流ぎふD」は1勝1敗です。3回戦の勝利で、団体戦予選の2位を目指します。相手は、奈良まほろばチームです。



団体戦の予選リーグ戦で、1位となった16チームです。決勝トーナメント進出で、組合せ抽選会を行います。



「清流ぎふA」チームが決勝進出です。相手は、鳥取県チームとの対戦に決定です。どのチームも、強敵ばかりです。

## 次の一手、詰将棋の正解発表



大石七段と高田五段による「次の一手」の解説。長沼洋八段出題で正解は「▲3三飛」。



選手の皆さんは二人のプロ棋士の解説の一言一言を、熱心に聞いていました。



次は高田五段が出題した「詰将棋」の解説です。初手は「▲3一桂成」でした。



久保九段が正解者の中から当選者を次々と発表しています。



久保女流1級も、正解した中から当選者を選んで、次々に発表していました。



岐阜の古川さんも当選！「やったね！」豪華な賞品がいただけました。



当選者には大石七段と高田五段から賞品が渡されました。「おめでとうございます！」



高田五段からも、賞品が渡されました。「おめでとうございます！」

## 3日目、個人戦の1回戦



3日目は個人戦トーナメントの始まりです。  
9つの山に分かれて、優勝を目指します。  
山には岐阜県の山の名称が付いています。



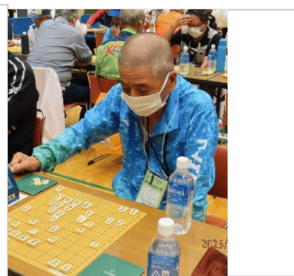
審判員もスタッフジャンパーを着用して  
対局開始の合図を待っています。終局まで  
公正な対局運営を目指します。



「清流ぎふB」チームの3人  
大将の久保田豊さんです。  
乗鞍岳の個人戦に出場です。



副将の平田角次さんです。  
大日ケ岳の個人戦に出場です。



三将の澤村松伺さんです。  
焼岳の個人戦に出場です。



「清流ぎふC」チームの3人。  
大将の服部一仁さんです。  
恵那山の個人戦に出場です。



副将の古川広文さんです。  
御嶽山の個人戦に出場です。



三将の杉崎正治さんです。  
白山の個人戦に出場です。

## 個人戦、江崎岐阜県知事さんが訪問



「清流ぎふD」チームの3人。  
大将の市村瑞穂さんです。  
大日ケ岳の個人戦に出場です。



副将の広井久明さんです。  
乗鞍岳の個人戦に出場です。



三将の高木一己さんです。  
笠ヶ岳の個人戦に出場です。



江崎岐阜県知事さんが各会場を巡回訪問  
されました。選手の皆さんへステージ上から  
激励の言葉を送られました。



審判長の久保九段とご対面。細谷副会長  
さんから紹介があり、ひと時、なごやかに  
歓談をされました。



決勝トーナメント進出をした「清流ぎふA」  
チームにも熱い声援を送られました。知事  
さんの応援が大きな力になります。



記念撮影です。左は丸山美濃加茂副市長  
さん、右は牧田美濃加茂市リクリエーション  
協会会長さんです。

## 午後からは、3回戦の始まり



プロ棋士との指導対局を希望する方達が行列を作って並んでいます。希望者が殺到するほどの人気コーナーになっていました。



団体戦決勝トーナメントの3回戦です。「お願いします。」と力強い挨拶でした。残っているのは4チームになりました。



岐阜の個人戦出場者の中では、3回戦に進んだのは、ただ一人、服部さんでした。1、2回戦とも、大逆転の勝利でした。



自由対局コーナーも設置されていて他県の代表の方との対局や見学者の方との対局での交流も楽しませていました。



3回戦は準決勝戦です。あと1勝すると、決勝戦への進出。東京AチームVS高知県チームの対戦となりました。



もう一つの準決勝は、埼玉県チームVS京都市の東山将棋センターチームの対戦となりました。

## プロ棋士の指導対局と3回戦の表彰



本大会の審判長を務める久保九段です。選手の皆さんとの対局にも熱心で、対局後には、丁寧な事後指導もされていました。



大石七段の指導対局です。岐阜の杉崎さんも、日頃の腕前を發揮していました。プロに勝つのは容易ではありません。



岐阜県出身の高田五段の指導対局です。早速、岐阜の選手の皆さんから対局の申し込みがあり、対局開始です。大熱戦です。



久保女流1級の指導対局です。向こうの方まで対局者の姿がたくさん見えています。皆さん、順番待ちで対局に向かいます。



個人戦の3回戦まで進み、ここで敗退すると、3位の表彰状授与です。細谷副会長さんより、賞状が授与されています。



マイケルさんは3位入賞。賞状とメダルの授与。外国の方の入賞は、画期的な出来事。将棋文化の広がりの可能性を示しています。

# 団体戦の決勝戦（4回戦）



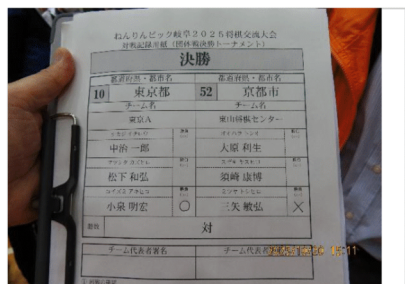
いよいよ、団体戦の決勝の始まりです。  
「お願いします！」記録は、佐藤翼君です。  
決勝戦で棋譜を取るの、初めての事です。



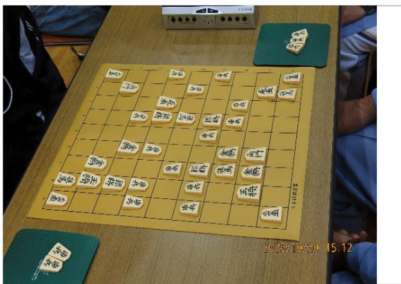
左側が東京Aチーム、右側が東山将棋センターチームです。優勝するのはどちらのチームでしょう？



大将戦は中治さんVS大原さんの対戦です  
先手の中治さんはひねり飛車です。まずは、じっくりとした駒組みが展開しています。



東京Aチームが1勝を挙げて、あと1勝で優勝、と言うところまで来ました。  
さあ、結果はどうなるでしょう？

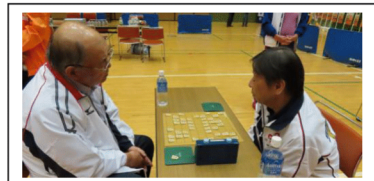


中治さんが▲6五桂と跳ねて、攻めの先端を切ると、大原さんは△2五歩と玉頭からの反撃を開始しました。どちらが勝つでしょう？



150手目の最終手△7四桂で中治さんが投了。東山将棋センターが優勝しました。  
「優勝、おめでとうございます！」

## 個人戦トーナメントの決勝戦



個人戦トーナメントの最終の4回戦が、決勝戦となりました。どの対局も迫力満点で、最終盤まで力を尽くした大熱戦が展開されました。

<左側の一番上から順に>

- ① 穂高岳 (藤田立明さん VS 西村利治さん)
- ② 檜ヶ岳 (萩原聡敦さん VS 昼間 勉さん)
- ③ 御嶽山 (山本 伸さん VS 重岡修二さん)
- ④ 乗鞍岳 (柿本雅之さん VS 谷口 登さん)
- ⑤ 白山 (武井 滋さん VS 志田邦彦さん)

<右側の一番上から順に>

- ⑥ 焼岳 (藤田巧さん VS 尾崎栄治さん)
- ⑦ 恵那山 (中田博光さん VS 村上勝司さん)
- ⑧ 笠ヶ岳 (蜂谷 茂さん VS 津留崎幸一さん)
- ⑨ 大日ヶ岳 (山口則夫さん VS 脇坂馨さん)

(お名前の**太字**の方が優勝者です。)

# ねんりんピック岐阜2025 団体戦決勝 大将戦

細谷 純一

美濃加茂市中央体育館 2025.10.20

ねんりんピック団体戦は各都道府県と政令指定都市から予選を勝ち抜いた64団体から頂点を目指します。決勝戦は京都市と東京都のそれぞれの代表で行われ、栄冠は京都市に決まりました。意外なのは京都市は予選から本選迄、初戦こそ3-0で勝ちましたがその後はこの決勝戦も含めて2-1を6連続で勝ち上がっています。トータルの成績は15勝6敗です。一方、準優勝の東京都Aは予選から決勝戦も含め、17勝4敗でやはり圧倒的な実力の持ち主の方ばかりです。



後手 大将 中 治一郎さん (63)

東京都代表 東京Aチーム

好きな駒 飛車

幼稚園の頃父に教わり将棋を始める

棋歴 令和3年 7年シニア名人戦東日本大会3位

職団戦 S級 (元富士通将棋部)

先手 大将 大原 利生さん (63)

京都市代表 東山将棋センターチーム

好きな駒 特になし

小学校2年生父に教わり将棋を始める

棋歴 平成14年第31回支部対抗戦西地区団体戦優勝

解説に移ります。戦型は先手の注文でひねり飛車、昭和のにおいがして良いですね。対する後手は左美濃で固さで対抗します。先手の6六銀は手堅い指し方で8八角と連動して後手の角の捌きを抑える長所があります。

一方、後手に3五歩を許したので駒組みを楽にさせた一面がありました。ただ、AI（水匠5）の形成判断は五角で私の頭は昭和の考え方と落ち込みましたが・・・。81手目5三歩は好手で少し苦しいながら勝負型に持ち込みました。しかし、後手は駒得から厚みを活かした攻めが厳しものになり、

最後まで着実に攻めてチームの優勝が決まりました。

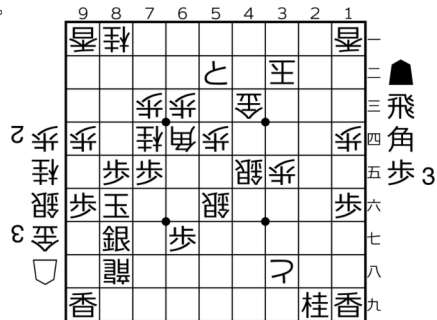
おめでとうございます。

後ほど、お二人から「ねりんピック運営関係者の皆様にご大変お世話になりました。」と温かいお言葉をいただいております。戦い終われば皆さんは紳士です。

私たちも万感の思いで大会を終えることができました。本当にありがとうございました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>▲7六歩△8四歩</li> <li>▲2六歩△8五歩</li> <li>▲2五歩△3二金</li> <li>▲2四歩△同歩</li> <li>▲同飛△2三歩</li> <li>▲2六飛△8六歩</li> <li>▲同歩△同飛</li> <li>▲7八金△8二飛</li> <li>▲9六歩①△6二銀</li> <li>▲7七桂△9四歩</li> <li>▲7五歩△3四歩</li> <li>▲8五歩△4四歩</li> <li>▲4八玉△4一玉</li> <li>▲6八銀△3三角</li> <li>▲3八銀△1四歩</li> <li>▲1六歩△5四歩</li> <li>▲7六飛△4三金</li> <li>▲3九玉△3二玉</li> <li>▲2八玉△2二玉</li> <li>▲5六歩②△3二銀</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③▲5七銀△4二角</li> <li>④▲6六銀△5一金</li> <li>▲5五歩△同歩</li> <li>▲同銀△5四歩</li> <li>▲6六銀△4一金</li> <li>▲2六歩△2四歩</li> <li>▲6八金△2三銀</li> <li>⑤▲5八金△3二金</li> <li>▲4六歩⑥△3五歩</li> <li>▲4七金△3四銀</li> <li>▲2七銀△3三桂</li> <li>▲3八金△4五歩</li> <li>▲同歩△同銀</li> <li>▲4六歩△3四銀</li> <li>⑦▲3六歩△同歩</li> <li>▲同銀△3五歩</li> <li>▲2七銀△5三銀</li> <li>▲7四歩△同歩</li> <li>▲同飛△7三歩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲7六飛⑧△4四銀</li> <li>⑨▲5三歩△同銀</li> <li>▲6五桂△6四銀</li> <li>▲5三歩△2五歩</li> <li>⑩▲9七角△2六歩</li> <li>▲同銀⑪△2七歩</li> <li>▲同玉△2五歩</li> <li>▲3七銀△6五銀</li> <li>▲同銀△8五飛</li> <li>▲8六歩△6五飛</li> <li>▲6六銀△6四飛</li> <li>▲5二歩成△3一角</li> <li>▲8五歩△3六歩</li> <li>▲同銀⑫△3五歩</li> <li>▲4五銀△同桂</li> <li>▲同歩△同銀</li> <li>▲2四桂△3六銀打</li> <li>▲2八玉△2六歩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑬▲3九玉△2七歩成</li> <li>▲4八玉△3八と</li> <li>▲5七玉△4七銀不成</li> <li>▲6八玉△8七銀</li> <li>▲7七玉△7六銀成</li> <li>▲同玉△5六銀不成</li> <li>▲3二桂成△同玉</li> <li>▲7七金△8九飛</li> <li>▲8八銀△8六歩</li> <li>▲同玉△6六飛</li> <li>▲8七玉△9七角成</li> <li>▲同玉△8六銀</li> <li>▲同金△同飛</li> <li>▲7七銀打△8八飛行成</li> <li>▲同銀△8六銀</li> <li>▲同玉△8八飛成</li> <li>▲8七銀△6四角</li> <li>▲7五歩△7四桂</li> <li>まで150手で後手の勝ち</li> </ul>
--	---	---	---

- ①△6二銀 △8六歩と打っても▲8五歩△同飛▲7七桂△8二飛▲8五歩で効果はない。
- ②△3二銀 左美濃の準備。固さで対抗。
- ③▲5七銀 バランスよく。
- ④▲6六銀 動きすぎた。4六歩、3六歩を急いだほうが良かった？
- ⑤▲5八金 しっかり玉の守りにつける。
- ⑥△3五歩 玉頭に厚みを加える。
- ⑦▲3六歩 キズにもなるが、積極的な考え方。
- ⑧△4四銀 居飛車等なら満足のいくわかれ。
- ⑨▲5三歩 最善の反撃。
- ⑩▲9七角 大駒の活用。
- ⑪△2七歩 玉頭が急所の手。
- ⑫△3五歩 急所の銀を捕獲する。
- ⑬▲3九玉 広いところへ逃亡。その間、駒損が響きました。



投了図 (7四桂まで)

## いよいよ、表彰式の始まり



全対局が終了して、表彰式が始まります。団体戦、個人戦の入賞者の皆さんがステージ前に集まってきました。



入賞者が全員揃い、いよいよ表彰式が始まります。2日間の戦いの成果が、形となって表れます。皆さん、お疲れ様でした。



こちら側には、大会会長の美濃加茂市長さん、副会長の細谷純一県連会長さん、岐阜県連の村松幹事長さんが並びました。



前列が優勝、準優勝チームと個人戦で優勝した9つの山の優勝者の皆さんです。後列は3位のチームと個人戦準優勝の皆さんです。



ステージ上は、4人のプロ棋士の皆さんです。表彰を待つ皆さんを温かく見守っていました。



会場の皆さんが見守る中、競技副委員長の村松幹事長さんより、今回の将棋交流大会の成績発表が行われました。

# 将棋交流大会 団体戦の表彰式



大会長の藤井浩人美濃加茂市長さんより優勝した京都市の東山将棋センターチームに表彰状が授与されました。



東山将棋センターチームに表彰状が手渡されると、会場からは、一斉に大きな拍手が沸き起こりました。



優勝した東山将棋センターチームには賞状の他に、トロフィー、メダルも授与されました。おめでとうございます！



準優勝となった東京都の東京Aチームです。優勝まで、あと一歩でした。お疲れ様でした。



団体戦3位のチームは2つありました。こちらは、埼玉県チームです。準決勝では、東山将棋センターチームにあと一歩でした。



もう一つの3位は、高知県チームです。準決勝戦で、東京Aチームに敗戦でした。どのチームも実力を出し切りました。

## 将棋交流大会 個人戦の表彰式



個人戦トーナメントで優勝された9人の皆さんです。藤井浩人美濃加茂市長さんより次々と表彰状が渡されていきました。



団体戦での決勝トーナメント進出は逃しましたが、個人戦トーナメントでは見事な優勝と言う成績を残しました。



フロアでの記念撮影。将棋交流大会で優勝したことは、皆さんの棋歴に大きな足跡を残すことでしょう。おめでとうございます！



こちらは準優勝された皆さんです。美濃加茂市長さんより、次々に表彰状が渡されました。



個人戦トーナメントで準優勝の皆さんへの表彰状渡しが続きました。決勝戦までの進出で、実力を示しました。



個人戦トーナメントで準優勝された皆さんの記念撮影です。お疲れ様でした。準優勝、おめでとうございます！

# 将棋交流大会 閉会式



藤井浩人美濃加茂市長さんより、主催者挨拶。「3日間の大会への参加、お疲れ様。」



4人のプロ棋士を代表して、高田五段より将棋交流大会の講評をしていただきました。



ステージには4人のプロ棋士が着席です。指導対局や解説、ありがとうございました。



細谷純一副会長さんより、閉会宣言。「これで将棋交流大会を終わります。」



大会が終了して、3日間の思い出を胸に帰途に就く選手の皆さんです。



美濃加茂市より大会記念のキーホルダーのプレゼントです。大会の思い出に！

**<編集後記>** ねりんピック岐阜2025の大会記録を、写真物語風に作成しました。

岐阜県内、全国の将棋愛好家の皆さんや大会参加者の皆さんに、この大会記録集を通して大会の様子、選手の皆さんの熱い思いが伝わることを願っています。 (写真、文責 古澤 寛) 25

団体戦予選リーグ(10月19日)結果表

A組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 東海(佐藤)	198	3-0	3-0	2-1	3-0	8	1		
ろ 東海(佐藤)	194	0-3	1-2	2-1	1-2	3	4		
は 東海(佐藤)	213	0-3	2-1	1-2	1-2	3	3		
に 東海(佐藤)	207	1-2	1-2	2-1	1-2	4	2		

E組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	194	3-0	0-3	1-2	1-2	4	3		
ろ 北陸(佐藤)	221	0-3	1-2	2-1	1-2	3	4		
は 北陸(佐藤)	201	3-0	2-1	1-2	2-1	6	1		
に 北陸(佐藤)	206	2-1	1-2	2-1	2-1	5	2		

I組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 福井(佐藤)	217	1-2	0-3	1-2	0-3	2	4		
ろ 福井(佐藤)	195	2-1	2-1	3-0	3-0	7	1		
は 福井(佐藤)	210	3-0	1-2	2-1	2-1	6	2		
に 福井(佐藤)	229	2-1	0-3	1-2	1-2	3	3		

M組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	200	1-2	3-0	1-2	1-2	5	3		
ろ 北陸(佐藤)	225	2-1	3-0	2-1	3-0	7	1		
は 北陸(佐藤)	216	0-3	0-3	0-3	0-3	0	4		
に 北陸(佐藤)	191	2-1	1-2	3-0	2-1	6	2		

B組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	215	1-2	1-2	2-1	1-2	4	3		
ろ 北陸(佐藤)	199	2-1	1-2	3-0	2-0	6	2		
は 北陸(佐藤)	232	2-1	2-1	3-0	3-1	7	1		
に 北陸(佐藤)	211	1-2	0-3	0-3	0-3	1	4		

F組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	205.5	0-3	2-1	1-2	1-2	3	3		
ろ 北陸(佐藤)	209	3-0	2-1	2-1	3-0	7	1		
は 北陸(佐藤)	234	1-2	1-2	1-2	0-3	3	4		
に 北陸(佐藤)	236	2-1	1-2	2-1	2-1	5	2		

J組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	238	2-1	2-1	3-0	3-0	7	1		
ろ 北陸(佐藤)	215	1-2	2-1	2-1	2-1	5	2		
は 北陸(佐藤)	222	1-2	1-2	3-0	1-2	5	3		
に 北陸(佐藤)	218	0-3	1-2	0-3	0-3	1	4		

N組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	210	3-0	3-0	2-1	3-0	8	1		
ろ 北陸(佐藤)	238	0-3	2-1	0-3	1-2	2	3		
は 北陸(佐藤)	205	0-3	1-2	0-3	0-3	1	4		
に 北陸(佐藤)	217	1-2	3-0	3-0	2-1	7	2		

C組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	223	1-2	1-2	1-2	0-3	3	4		
ろ 北陸(佐藤)	200	2-1	0-3	2-1	2-1	4	2		
は 北陸(佐藤)	211	2-1	3-0	2-1	3-0	7	1		
に 北陸(佐藤)	199	2-1	1-2	1-2	1-2	4	3		

G組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	242	0-3	2-1	3-0	2-1	5	2		
ろ 北陸(佐藤)	205	3-0	2-1	2-1	3-0	7	1		
は 北陸(佐藤)	208	1-2	1-2	2-1	1-2	4	3		
に 北陸(佐藤)	225	0-3	1-2	1-2	0-3	2	4		

K組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	201	0-3	1-2	0-3	0-3	1	4		
ろ 北陸(佐藤)	217	3-0	2-1	3-0	3-0	8	1		
は 北陸(佐藤)	186	2-1	1-2	1-2	1-2	4	3		
に 北陸(佐藤)	187	3-0	0-3	2-1	2-1	5	2		

O組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	207	1-2	3-0	2-1	2-1	6	2		
ろ 北陸(佐藤)	189	2-1	3-0	3-0	3-0	8	1		
は 北陸(佐藤)	239	0-3	0-3	2-1	1-2	2	3		
に 北陸(佐藤)	232	1-2	0-3	1-2	0-3	2	4		

D組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	200	2-1	3-0	3-0	3-0	8	1		
ろ 北陸(佐藤)	228	1-2	0-3	1-2	0-3	2	4		
は 北陸(佐藤)	185	0-3	3-0	1-2	1-2	4	3		
に 北陸(佐藤)	218	0-3	2-1	2-1	2-1	4	2		

H組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	224	1-2	1-2	0-3	0-3	2	4		
ろ 北陸(佐藤)	228	2-1	1-2	1-2	1-2	4	3		
は 北陸(佐藤)	200	2-1	2-1	3-0	3-0	7	1		
に 北陸(佐藤)	213	3-0	2-1	0-3	2-1	5	2		

L組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	196	2-1	2-1	3-0	3-0	7	1		
ろ 北陸(佐藤)	213	1-2	1-2	2-1	1-2	4	3		
は 北陸(佐藤)	233	1-2	2-1	2-1	2-1	5	2		
に 北陸(佐藤)	232	0-3	1-2	1-2	0-3	2	4		

P組

チーム名	選手 合計	い	ろ	は	に	勝敗	勝5数	敗5数	順位
い 北陸(佐藤)	246	1-2	3-0	3-0	2-1	7	1		
ろ 北陸(佐藤)	214	2-1	1-2	2-1	2-1	5	2		
は 北陸(佐藤)	209	0-3	2-1	1-2	1-2	3	4		
に 北陸(佐藤)	231	0-3	1-2	2-1	1-2	3	3		



## 上位入賞記録報告書

大会種目名	将棋【団体戦】（美濃加茂市：美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい）
-------	-----------------------------------

## 団体戦

No.	表彰項目	都道府県・政令指定都市名	チーム名
1	優勝	京都市	東山将棋センター
2	準優勝	東京都	東京A
3	第3位	埼玉県	埼玉県
4	第3位	高知県	高知県
5	優秀賞	岩手県	OHTANI 様様
6	優秀賞	福島県	白河の関
7	優秀賞	東京都	東京B
8	優秀賞	三重県	笛肉巢三重
9	優秀賞	滋賀県	滋賀県
10	優秀賞	奈良県	奈良まほろば
11	優秀賞	鳥取県	鳥取県
12	優秀賞	広島県	広島県選抜
13	優秀賞	鹿児島県	さつま支部
14	優秀賞	相模原市	相模原こもれび
15	優秀賞	大阪市	大阪市
16	優秀賞	岐阜県	清流ぎふA

上位入賞記録報告書

大会種目名 将棋【個人戦】(美濃加茂市:美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい)

No.	ブロック	表彰項目	都道府県・政令指定都市名	ふりがな 氏 名	性別	年齢
1	穂高岳	優勝	長崎県	フジタ タツアキ 藤田 立明	男	79
2		準優勝	佐賀県	ニシムラ トシハル 西村 利治	男	76
3		第3位	岡山県	マツナガ タダオ 松永 唯夫	男	68
4		第3位	愛知県	ナカヒラ シノブ 中平 忍	男	64
5	槍ヶ岳	優勝	横浜市	ハギワラトシノブ 萩原 聡敦	男	64
6		準優勝	千葉県	ヒルマツトム 原間 勉	男	75
7		第3位	香川県	オカタ シゲミツ 岡田 繁満	男	76
8		第3位	さいたま市	オオスマ ヒロユキ 大沼 洋之	男	68
9	御嶽山	優勝	北海道	ヤマモト シン 山本 伸	男	62
10		準優勝	広島市	シゲオカ シュウジ 重岡 修三	男	76
11		第3位	石川県	マイケル サンティマン マイケル サンティマン	男	67
12		第3位	福井県	ヤマモト ヒサキ 山本 久樹	男	76
13	乗鞍岳	優勝	広島市	カキモト マサユキ 柿本 雅之	男	61
14		準優勝	名古屋市	タニグチ ノボル 谷口 登	男	60
15		第3位	秋田県	フジタケンイチ 藤田 賢一	男	64
16		第3位	沖縄県	ウエハラ アキノリ 上原 昭則	男	68
17	白山	優勝	兵庫県	タケイ シゲキ 武井 滋	男	87
18		準優勝	千葉県	シダクニヒコ 志田 邦彦	男	74
19		第3位	さいたま市	シミズ タクヤ 清水 琢哉	男	62
20		第3位	石川県	イズミ カツシ 泉 克史	男	66
21	焼岳	優勝	神戸市	フジタ タクミ 藤田 巧	男	75
22		準優勝	長崎県	オサキ エイジ 尾崎 栄治	男	63
23		第3位	千葉市	ウイ タカヒロ 宇井 隆浩	男	64
24		第3位	徳島県	バンドウ ハジメ 坂東 元	男	63
25	恵那山	優勝	秋田県	ナカタ ヒロミツ 中田 博光	男	77
26		準優勝	北九州市	ムラカミ カツジ 村上 勝司	男	71
27		第3位	岐阜県	ハットリ カズヒト 服部 一仁	男	71
28		第3位	横浜市	コンノ ヤスノブ 今野 晴宣	男	83
29	笠ヶ岳	優勝	島根県	ミネタニ シゲル 峰谷 茂	男	71
30		準優勝	熊本県	ツルサキ コウイチ 津留崎 幸一	男	68
31		第3位	静岡県	シナガワ エツロウ 品川 悦郎	男	86
32		第3位	和歌山県	コンダ アツヒロ 巒田 敦弘	男	63
33	大日ヶ岳	優勝	京都府	ヤマグチ ノリオ 山口 剛夫	男	69
34		準優勝	富山県	ワキサカ カオル 脇坂 馨	男	67
35		第3位	広島市	カドワ セイジ 加藤 清爾	男	70
36		第3位	愛媛県	イツシキ アツシ 一色 厚志	男	67

# 「将棋交流大会特集号」の番外編（1）



朝の受付係です。美濃加茂市役所の職員さんがスタッフです。出席された選手の方のチェックが終了しました。



プラザ中体2Fでは、健康づくり教室を開催。保健師の健康相談に2日間で164名の方の参加がありました。（奥側）



2F食堂前には、長い行列ができました。おもてなし弁当、スタッフ弁当と分けて一人ひとりに手渡していました。



駒を取った時に、自分の駒を取った場所とは違うところに置いてしまいました。審判、審判長が確認して、勝敗が決定です。



お土産コーナーです。美濃加茂市の特産の堂上蜂屋柿の入ったお菓子を販売中。美濃加茂市のロゴのトートバッグもありました。



今日の対局が終了。直ぐに明日の団体戦決勝トーナメントや個人戦トーナメントに備えて、机・椅子の並べ直しです。

# 「将棋交流大会特集号」の番外編（2）



「清流ぎふA」チームは決勝トーナメント進出でしたが、残念ながら1回戦で敗退でした。ベスト16位賞を、いただきました。



団体戦決勝トーナメントのチームです。近くに行くと、「写真を撮って！」と何人もの方からスマホを渡され、写真撮りです。



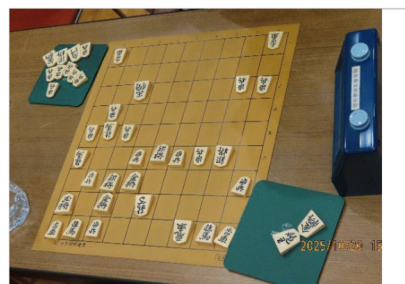
マイケルさんの2回戦です。この対局にも勝ったので、3回戦に進出、ベスト3以内が確定しました。素晴らしい記録です！



自玉の詰みはありませんが、入玉されて遂に、時間切れ。「切れましたよ！」と対局時計がゼロになったと示しています。



恵那山の個人戦トーナメントの決勝戦で、村上さんVS中田さんの一戦です。村上さんは、自玉をしっかり固めて、攻めに出ます。



村上さんは自玉の堅さを生かして、攻め込みます。中田玉は、遂に守り駒ゼロの裸玉です。どちらが勝ったのでしょうか？







日本将棋連盟 岐阜県支部連合会

(「ねんりんピック岐阜2025」特集号)